

第71回
気仙沼みなとまつり

報 告 書

開催日：令和5年8月5日（土）
8月6日（日）

気仙沼みなとまつり委員会

第 7 1 回気仙沼みなとまつり

骨子

◎ 8 月 5 日 (土)

初日：港町（交通規制…16:00～21:00）

- | | |
|----------------|-------------|
| ○「オープニングセレモニー」 | 17:30～18:00 |
| ○「はまらいんや踊り」 | 18:00～20:00 |
| ◇「露店コーナー」 | 16:30～20:00 |

◎ 8 月 6 日 (日)

2 日目：港町臨港道路・南町海岸(内湾)・気仙沼湾内（交通規制…10:30～21:30）

《昼の部》

- | | |
|------------------------------|-------------|
| ○「みなとまつりパレード」 | |
| ・みなとまつりパレード出発式 | 11:50～12:00 |
| ・みなとまつりパレード | 12:00～15:00 |
| ○「第 18 回カッター競漕大会」 | 13:30～15:30 |
| ○ホヤぼーやショー「ALL HOYA FRIENDS!」 | 16:40～17:00 |

《夕の部》

- | | |
|------------------|-------------|
| ○「夕の部セレモニー」 | 17:00～17:30 |
| ○「打ちばやし大競演・うんづら」 | 17:30～20:30 |
| ○「さんま船集魚灯披露」 | 18:00～20:30 |

協力：第八十一豊清丸

- | | |
|-------------|-------------|
| ○「海上打ち上げ花火」 | 20:00～20:30 |
|-------------|-------------|

花火打ち上げ業者；芳賀火工

- | | |
|----------------------|-------------|
| ◇「露店コーナー」 | 11:30～20:30 |
| ☆「YEG インドネシアフェスティバル」 | 11:00～20:30 |

1. 特 徴

- (1) 今年のみなとまつりは、震災復興工事が概ね完了したことや新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行したことを受け、13年ぶりに全ての行事を震災以前の会場（港町臨港道路内～内湾エリア）で開催することができた。来場者数は震災以降最多の87,000人となった。
- (2) 8月5日（土）港町臨港道路を会場に開催の「はまらいんや踊り」は、4年ぶりに開催された。参加状況は、学校の部、サークル・自治会の部、企業の部から43団体、約1,900名であった。久しぶりの「はまらいんや踊り」に参加者はもちろん観客も大いに盛り上がった。今年は飛び入り参加を可とし、まさに「はまれる“はまらいんや”」にふさわしい行事となった。
- (3) 正午からの「みなとまつりパレード」は、港町臨港道路を会場に、スタート地点をローソン港町店前、ゴール地点をみちのく建設工業前とするコースで実施した。停止演技場所はスタート地点付近と本部ステージ前付近の2箇所に設定した。スタート地点付近で出発式を行った後、会長、実行委員長、インドネシア駐日大使が乗車の主催者先導車両に続き、10団体、約500名が進行した。
- (4) 例年行われている「海上うんづら」は、台船の確保が難しく、今年は陸上での太鼓演奏となった。それに伴い、「陸上うんづら」を海の道（魚市場付近）に建設し「打ちばやし大競演」の中で一体となり演奏を行った。
- (5) 当日は両日とも気温が高く熱中症が予想されたため、ステージ上の司会者による声掛けや会場アナウンスなどで水分補給や休息を呼びかけ、熱中症対策を図った。

2. まつり行事内容について

＜8月5日（土）＞

（1）第71回気仙沼みなとまつりオープニングセレモニー

港町臨港道路に特設のまつりステージにて午後5時30分より開式。司会進行は、気仙沼出身フリーアナウンサーの岩手佳代子さんと気仙沼商工会議所青年部の一色法人さんに務めていただいた。

恒例の（一社）気仙沼青年会議所による勇壮な「銀鱗太鼓」がオープニングを飾った。気仙沼みなとまつり委員会長の菅原茂市長の挨拶の後、小野寺五典衆議院議員をはじめ来賓から祝辞をいただくとともに、今年もインドネシア共和国ヘリ・アフマディ駐日特命全権大使夫妻にご臨席いただき、お言葉を頂戴した。

来賓紹介・主催団体長紹介に続き、第62(H25)回からさんま船の集魚灯披露などみなとまつりの開催に多大なご協力いただいている第八十一豊清丸 中館捷夫漁労長に対し、そのご功績を称え感謝状を贈呈した。

（2）はまらいんや踊り（参加43団体、約1,900名）

4年ぶりの「はまらいんや踊り」には学校の部、サークル・自治会の部、企業の部から43団体、約1,900名が参加し、13年ぶりに港町臨港道路にて実施した。

会場周辺は、ローソン港町店前からみちのく建設工業前までを通行止めとし、会場の安全と周辺の円滑な通行を図った。踊り会場では、みなとまつり委員会スタッフと各参加団体の運行係により、安全かつスムーズな運行を図った。

バンド演奏は、例年に引き続きバイソン片山氏率いるバイソンバンドに依頼する予定であったが、片山氏の都合により参加できず急遽 小山田和正氏に参加いただいた。団体名はバイソンバンドとそのままだに、迫力と熱気にあふれる演奏で大いに会場を盛り上げた。

今年度は観客の「飛び入り参加」を可とした結果、26団体が一般客の参加を受け入れることとなった。プラカードにオレンジ色のサイリウムライトを付けた団体を「一般参加受け入れ可能団体」とし、参加者と観客とが一体となれる行事を目指した。

今年は青年部より5名の掛け声隊とともに、太鼓8団体が音楽にあわせて演奏した。こまめな休憩を挟みながら進行し、参加団体はそれぞれが趣向を凝らした衣装と踊りを披露した。参加者も観客もまつりを堪能し、熱気溢れた「はまらいんや踊り」となった。



<8月6日(日)>

(3) みなとまつりパレード (参加 10 団体、約 500 名)

「みなとまつりパレード」は会場を港町臨港道路とし、スタートをローソン港町店前、ゴールをみちのく建設工業前に設定し、停止演技場所はスタート地点付近と本部前ステージ付近の2箇所に設けた。司会進行は、岩手佳代子さんと気仙沼青年会議所の菅野秀隆さんに務めていただいた。

出発時刻の正午を前にした午前11時50分から出発式を開式した。会長、実行委員長、主催団体長、インドネシア共和国駐日大使、来賓等によるテープカットをtbc A Z 提供のファンファーレで行った後、会長、実行委員長、駐日大使を乗せた自衛隊高機動車を先頭にスタートした。

打ちばやし巡行や虎舞演舞、ブラスバンド、神輿渡御など伝統あるパレードや青年部のインドネシアパレード、「よさこい演舞」などの趣向を凝らしたパレードが進行し、沿道に集まった観客からは、大きな拍手、大きな歓声が起こり盛り上がりを見せた。



(4) 第 18 回カッター競漕大会

昨年 12 年ぶりに復活した「カッター競漕大会」を今年度も実施した。内湾エリアを会場に往復約 450m のタイムレース形式で行われ、15 チームが参加しての大会となった。昨年と同様に気仙沼市役所 OB 酒井勇一氏に協力を仰ぎ、ルールやコースを設定した。今年度はカッター艇を 1 艇修繕し、震災以前と同様に 3 艇でのレースを行うことができた。競技の結果、過去 12 回の出場経験を持つ「『大島』火消しの椿」が 2 年連続 4 回目の優勝を飾った。



(5) ステージイベント

夕の部セレモニーが始まる直前、ホヤぼーやと SCK GIRLS とのスペシャルコラボショー「ALL HOYA FRIENDS!」が港町特設ステージで披露された。ステージ前に集まった子供たちが手拍子をしたり一緒に踊ったりと、にぎやかなステージイベントとなった。

また 19 時から、演歌歌手でみなと気仙沼大使でもある北野都さんによる歌謡ショーも披露され、観客たちは気仙沼をテーマにした歌に聞き入っていた。

(6) 夕の部セレモニー・打ちばやし大競演（参加 26 団体、約 600 名）

会場を港町臨港道路（神興冷機前からみちのく建設前）にして、市内の和太鼓団体 26 団体、約 600 名の打ち手が 500 基余りの太鼓を並べ演奏を披露した。司会進行は気仙沼出身フリーアナウンサーの菅原克彦さんに務めていただいた。

午後 5 時から本部前特設ステージにて、夕の部の始まりを告げるセレモニーを実施。ご来賓や主催団体長登壇の中、気仙沼みなとまつり委員会実行委員長菅原昭彦商工会議所会頭の挨拶に続き、第八十一豊清丸 中館捷夫漁労長によるさんま船集魚灯披露が行われた。打ちばやし団体の紹介に続き、新城打囃子保存会のフィン・カイ・ストラスさんによる「初っ切り太鼓」を皮切りに、打ちばやし大競演がスタートした。

夕の部では、「打ちばやし大競演」「陸上うんづら」「海上打ち上げ花火」「さんま船集魚灯披露」の各行事が連動したプログラム構成とし、気仙沼の夏の夜を賑やかに演出し、みなとまつりならではの迫力ある情景を創出した。



(7) さんま船集魚灯披露

平成 25 年第 62 回からご協力をいただいている、第八十一豊清丸による「さんま船集魚灯」は夜の港町を明るく照らし、来場者に感動と笑顔を与えていた。



(8) 陸上うんづら

(一社) 気仙沼青年会議所の「うんづら」は、みなとまつりで大漁と海上安全を願う象徴として今年も実施された。前述のとおり、例年行われている「海上うんづら」は台船の確保が難しいことから、今年度は陸上での太鼓演奏となった。それに伴い、「陸上うんづら」を海の道（魚市場北側付近）に建設し「打ちばやし大競演」の中に盛り込むかたちとなった。気仙沼青年会議所メンバーの心意気にあふれた太鼓演奏は、陸の太鼓演奏との競演で、さらに観客を魅了した。



(9) 海上打上げ花火

今年も「海上打ち上げ花火」が、午後8時からまつりのフィナーレを飾った。今年も県内の花火業者である芳賀火工の花火師が、気仙沼の夜空に華麗な花火を打ち上げた。

花火は、オープニングスターマインで開幕。4号玉、5号玉、7号玉、8号玉、10号玉（尺玉）の連発打上げと、色と光の美しいジャンボスターマインなどとともに、芳賀火工が得意とする水中花火も行い、約2,400発を打ち上げた。打ちばやし大競演、陸上うんづらとのコラボレーションで、気仙沼湾を華やかに彩った。

(10) 露店コーナー

今年は旧アベキ様駐車場と岡本製氷様駐車場の2ヶ所を確保し、29店舗が出店。1日目は16:30、2日目は11:00から開店し、大盛況に終わった。昨年に引き続き気仙沼出身のYoutuber「アナハゼティ」が出店しており、多くの来場者が列をなしていた。

3. 協賛行事などについて

(1) YEG インドネシアフェスティバル

南町海岸公園を会場に、気仙沼商工会議所青年部主催の「気仙沼 YEG インドネシアフェスティバル」が開催された。気仙沼市民、在住しているインドネシア人やその関係者などの幅広い層へ向け様々な催しが行われた。

特設ステージでは、インドネシア現地で活躍するシンガーソングライター加藤ひろあき氏によるライブをはじめ、東京ラグラグ会によるインドネシアの伝統曲紹介と合唱、バリ舞踊披露などが行われた。また、北スラウェシ州ミナハサ県の舞踊団体によるステージ公演も行われ、盛り上がりを見せた。

出店ブースには地球対話ラボ、ドローン体験、プロテインソーセージの試食ブース、「世界ゴハン sekaigohan”sego”」※などが設けられ、来場者はインドネシアの文化を間近で体感することができた。また、東北大学公共空間ポッチャプロジェクト D&I との共同主催による「ポッチャ体験会」も行われた。

※ 仙台で人気の、ハラールなど食の多様性に対応したレストラン。インドネシアなどの世界の料理を出すお店。今回は、インドネシア料理・お肉・かき氷などを販売。

（２）ないわん昼市・夜市

気仙沼まちなかプラットフォームの主催で、南町海岸公園で行われる毎月恒例の「ないわん朝市」のまつりバージョンとして、５日（土）16:00～21:00、６日（日）11:00～21:00 に開催された。約 40 店舗が出店し、会場は賑わいを見せた。



４．人 出

まつり当日の人出は、８月５日（土）が 36,000 人(68 回比 1,000 人増)[※]、６日（日）が昼の部 14,000 人・夕の部 37,000 人の計 51,000 人（昨年比 20,000 人増、68 回比 10,000 人増）となった。２日間合計では 87,000 人（昨年比 56,000 人増、68 回比 11,000 人増）となった。

両日にわたり十分すぎるほどの好天に恵まれ、さらに４年ぶりの「はまらいんや踊り」、13 年ぶりの港町・内湾エリアでの開催ということもあり、東日本大震災以来最多の来場者数となった。

５．天 候

◇ ８月５日（土）

初日は、終日晴れで真夏日となった。夕刻からは気温も下がり始めたものの、気温が高い状態が続いた。（最高気温 33.2 度 午後 6 時頃の気温 27.8 度[※]）

◇ ８月６日（日）

２日目も同様に、終日晴れで真夏日となった。初日より気温が低くなったものの依然として熱中症の危険が懸念される天候となった。（最高気温 31.2 度 午後 6 時頃の気温 27.4 度）

[※] 69 回、70 回は新型コロナウイルスの影響により 1 日目を実施せず、中止・縮小開催とした。そのため、直近の開催のうち 2 日間開催で実施された 68 回の 1 日目と比較することとした。

[※] 国土交通省気象庁 過去の気象データ検索 (<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/>)

6. シャトルバスほか交通機関の臨時便について

BRT の最終ダイヤ（両日とも）

◎気仙沼線 BRT

南気仙沼駅… 2 1 : 2 4 発（松岩・階上経由：本吉行）

◎大船渡線 BRT

内湾入口（八日町）駅… 2 1 : 1 2 発（鹿折・唐桑経由：盛行）

7. 出 動

	今年度（2日間延べ人数）	昨年度実績
気仙沼警察署	1 0 0 人	1 1 6 人
気仙沼市交通指導隊	4 8 人	4 8 人
気仙沼市防犯実働隊	4 8 人	1 1 6 人
気仙沼市海上保安署	2 人	1 0 人
気仙沼消防署（消防本部含む）	4 4 人	4 8 人
気仙沼消防団	1 3 4 人	1 2 0 人
気仙沼市役所	3 8 2 人	3 7 2 人
気仙沼市青少年支援センター	0 人	1 1 人
（公社）気仙沼シルバー人材センター	2 0 人	2 0 人
警備艇	1 5 人	1 2 人
警備部会・警備会社	9 6 人	4 8 人
気仙沼商工会議所	3 4 人	3 4 人
早稲田大学大学生ボランティア	2 3 人	5 2 人
合計	9 4 6 人	1 0 0 7 人

8. 警備・交通規制

13年ぶりに全ての行事を震災以前の会場（港町臨港道路内～内湾エリア）で開催するにあたり、一部区間（ローソンみなと町店からお魚いちばまでのホテル観洋下の道路は北進のみの片側一車線通行）を除き、5日（土）は16:00～21:00まで、6日（日）は10:30～21:30まで、会場付近一帯を車両通行禁止とした。会場近辺の来場者の動線確保と混雑緩和のため、規制区間の車両と人が交差するポイントなどにコーン・バーや警備員を配置し安全確保に努めた。

港町の岸壁については、海中転落などの危険を防止するため、近辺にコーン・バーや警備員を配置し進入禁止に努めた。また、万が一に備え、岸壁付近に救命用浮き輪やハシゴを設置した。まつり委員会の警備計画のほかに、市職員の有志やボランティアなど独自の人員を会場付近や駐車場などに配置し警備にあたった。

9. 事 故 （カッコ内は昨年の数字）

まつり期間中に会場付近で発生した事故等の件数は以下の通り。

- ・ 人身事故 0 件（0 件）・ 物損事故 0 件（1 件）・ けが病人 1 件（5 件）
- ・ 遺失 0 件（30 件） ・ 拾得物 0 件（45 件） ・ 迷子 1 件（3 件）

気仙沼警察署や気仙沼海上保安署、気仙沼消防署ほか警備に携っていただいた各団体の協力に感謝する。

10. 清 掃

まつり会場内にエコステーションを設置し、本年も学生ボランティアの呼びかけにより、来場者には分別の徹底やゴミの持ち帰りに協力を頂いた。

会場周辺の清掃は 8 月 6 日（日）・ 7 日（月）両日ともに南町・内湾地区・港町を下記の団体の協力をいただき実施した。

早朝清掃協力者

（公社）気仙沼シルバー人材センター、市民憲章推進協議会気仙沼地区部会、気仙沼海友会、全国海友婦人会気仙沼支部、気仙沼市婦人連絡協議会中央婦人会、(株)気仙沼商会、気仙沼市役所、気仙沼商工会議所